

## ◆令和2年3月19日開催庁議◆

### 1. 市長挨拶

- 本日は人事異動の内示を行うが、それぞれの部署の協力で令和2年度の組織をまとめた。職員数が限られている中で各部署に配置を行い、更には各職員の能力を生かした異動・昇任とした。すべてが満足いく人事とはならないとは思いますが理解願いたい。

### 2. 議事

#### (1) 令和2年度人事異動内示について【総務部】～要点抜粋

##### ◎資料に基づき、総務部長説明

- 令和2年度の組織機構の概要としては、新規事業に対応しつつ、「第5期恵庭市総合計画」や「恵庭市総合戦略」を推進し、市の重点施策の実現を効率よく推進することのできる体制とした。
- 令和2年度は、前年度に28名の退職があり、第2次定員管理計画に基づいた職員採用を行い、再任用職員を含めた全体の職員数を561名とした。
- 主要な内容として、新規事業の人員を確保するため、部署ごとに組織体制や事務事業を見直し組織のスリム化を図った。
- 総務部では、税以外の債権も取り扱っていることから「納税課」を「債権管理課」に名称変更し、各課への債権管理をアドバイスできるようにした。
- 企画振興部では、行政改革をより一層推進するため、企画課に主幹を新設した。
- 経済部では、令和4年度に開催が予定されている全国都市緑化北海道フェアに対応するため、次長職1名、課長職2名、主査職2名、スタッフ職2名からなる「全国都市緑化北海道フェア準備室」を新設した。
- 水道部では、業務効率化のため「工事課」と「施設維持課」を「上水道課」と「下水道課」に再編した。
- 消防本部では、消防職員から消防長を選任した。
- 人事異動に際し、関係各部との組織・機構に対するヒアリングや人事異動ガイドラインに基づき、職員の意向調査の実施と各所属長と異動対象職員との面談結果を参考としつつ、職員の意識向上、適材適所の職員配置に努めた。
- 今回の異動者総数は243名、昇任者数は部長級1名、次長級4名、課長級6名、主査級14名の計25名となった。なお、令和2年度の組織において女性管理職は8名であり、管理職に占める女性割合は8.7%となった。

#### (2) 市職員によるきれいなまちづくり春のキャンペーン実施について

##### 【生活環境部】～要点抜粋

##### ◎資料に基づき、生活環境部長説明

- 雪解けが急速に進んだため、期間を前倒しして3月23日より3月31日まで実施することとした。
- 実施方法については、各自ごみ袋を用意するかボランティア袋で通勤時に回収することとし、電車通勤者は駅から市役所までの経路を回収し、車での通勤者は駐車場からの経路を回収すること。

### 3. その他

#### 【総務部長】

##### ◎人事評価の最終評価結果（確定値）について

- ・今年度の総合評価及び業績評価について、2月25日に未確定値をフィードバックし、異議申立について審議後、期末評価から3月までの間に生じた変更申立について期日までに申し出がなかったことから、現在全職員にフィードバックしている成績（暫定結果）を、最終の人事評価結果（確定値）として確定する。
- ・分類は、【1】一般事務職、消防本部職員、消防管理職員、【2】保育園保育職、【3】学校業務主事、【4】消防職（隔勤）としており、それぞれ各級に再任用職員を含み、各点数域は本年度と過去2年の3年間の平均値とし、各ランクについては標準偏差を用いて算出している。
- ・総合評価、業績評価ともに、S～Dまでの5段階評価の分布につきましては、全体的には、ほぼ前年と同様となっており、上位評価（総合評価SA, 業績評価sa）は概ね10%以内、中位評価が約80～90%程度、下位評価（総合評価CD, 業績評価cd）は概ね10%以内となっている。
- ・今後人事異動で上司が変わる場合は、新しい上司に部下の人事評価の要点を引き継ぐなどして継続的なフォローが出来るよう配慮すること。また、最終評価「D」の評価となった職員の1次評価者を対象に研修会等を実施する。
- ・人事評価結果の職員への反映（①スタッフ職・主査職勤勉手当への反映、②再任用職任用への反映、③分限への反映）については、人事評価制度検討委員会での検討並びに恵庭市職員労働組合との協議結果に基づき実施する。

##### ◎臨時議会について

- ・4月24日午後に臨時議会を開催する方向で調整を行っている。
- ・案件がある場合については、総務課へ報告のこと。